

# 第1学年1組道徳科学習指導案

- 1 主 題 名 やさしい きもちで 〈B－(6) 親切、思いやり〉
- 2 教 材 名 くりの み (光村図書 道徳1)
- 3 主題設定の理由

## (1) ねらいとする価値について

本主題は、学習指導要領の内容項目「B 主として人との関わりに関すること」の「親切、思いやり」第1学年及び第2学年の「身近にいる人に温かい心で接し、親切にすること」を受けて設定されている。この時期の児童は、家族だけではなく家の周りの人々や学校の人々、友達など、様々な人との関わりの中から相手の考えや気持ちに気付くことができるようになってきている。しかし、発達的特質からまだまだ自分中心の考え方をすることが多いため、よりよい人間関係を築く上で、互いが相手に対して思いやりの心をもつことの大切さについて考えを深めさせていきたい。人は、誰しも自己中心的に考えてしまい、すぐに親切にできないことがあるが、相手の立場になって考えることで、弱い自分を乗り越え親切な行為へとつなげていけるようになる。また、相手の喜びを自分の喜びとして受け入れられるような心情を感じ取らせることも必要である。そこで、相手のことを親身になって考えようとする態度を育み、さらに、身近にいる様々な人々に対して、具体的に親切に接しようとする意欲と態度を育んでいきたいと考えた。

## (2) 児童の実態について

本学級の児童の中には、友達を助けようとする行動ができる児童もいれば、自分の都合を優先させたり思いを押し通したりする児童も見られる。どちらかといえば、後者の方が多いと感じる。学校生活に慣れてきたものの、まだ、自分で自分のやるべきことが分かり、しっかりとこなしていける児童は少ない。ましてや、相手のことを思って自ら進んで親切にできる児童はさらに少ない。

そこで、困っている人のために行動する際に、「相手の気持ちや立場を考えて行動することが大切」であることを考えさせるとともに、「相手のために、思いやりをもって接していきたい」という意識を高めさせたい。

## (3) 教材について

北風の吹く寒い原っぱで、ぼったり出会ったきつねとうさぎ。それぞれお腹をすかせており、別々に食べ物を探しに行く。きつねがたくさん見つけたどんぐりを独り占めにしようとする一方で、うさぎは、やっと見つけた栗の実をきつねに分けてあげようとする。そんなうさぎの行動に心を動かされ、きつねは涙を流す。きつねとうさぎの言動や気持ちを想像させ、涙を流したきつねの気持ちに共感させながら、相手に親切にする行為のすばらしさや、それが相手の心を動かすことなどについて気づかせたい。

## 4 ねらい

- うそをついたきつねが、うさぎの優しさに接して心を揺さぶられる姿を通して「親切」について考え、相手に親切に思いやりをもって接しようとする実践意欲と態度を育てる。

- 5 準 備 (教) タブレット端末 場面絵 ワークシート つり下げカード (きつね・うさぎ)  
栗の実の模倣物

(児) 心情円盤

6 指導課程

時間	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点	評 価
3 (3)	<p>1 親切にされた経験を発表する。</p> <p>△ だれかに親切にされたとき、どんな気持ちになりましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ けがをしたときに、6年生が荷物を持ってくれたり、保健室に連れて行ってくれたりして、うれしかった。</li> <li>・ 友達が鉛筆を拾ってくれて、ありがとうと思った。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「しんせつ」について、かんがえよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 親切にされた経験を想起させ、親切にしてもらうとどんな気持ちになるのかを確認する。</li> <li>○ 親切にされると温かい気持ちになること、様々な人から親切にされていることを押さえたうえで、自分が親切にするときには、どんなことができるかというねらいにつなげる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分の経験を振り返り、意欲的に発言することができたか。 (観察・発表)</li> </ul>
3 4 (37)	<p>2 「くりのみ」を読んで、話し合う。</p> <p>(1) 教材を読む。</p> <p>(2) 話の設定を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ きつね</li> <li>・ うさぎ</li> <li>・ 寒い冬の日のお話</li> <li>・ きつねもうさぎもお腹をすかせながら食べ物を探しに行った。</li> <li>・ きつねは、どんぐりをお腹いっぱい食べて、残りを隠した。</li> <li>・ うさぎは、きつねに栗の実を1つあげた。</li> <li>・ きつねがなかった。</li> </ul> <p>(3) きつねの言ったことから、きつねの気持ちを考える。</p> <p>△ きつねが「だめ、だめ。なんにもみつかりませんでした。」と言ったのは、どうしてでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分で見つけたどんぐりだから、誰にもあげたくない。</li> <li>・ うさぎにあげたくない。</li> <li>・ 独り占めしたい。</li> </ul> <p>(4) うさぎの行動について考え</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教材は教師が範読をする。</li> <li>○ 登場人物とあらすじについて確認をする。</li> <li>○ 話の順を追って内容を確認する。</li> <li>○ 冬の森の様子画像を見せ、冬が厳しく、食べ物がみつからないかもしれないということを押さえる。</li> <li>○ きつねが自分のことばかり考えていることを押さえる。</li> <li>○ どんぐりを隠すきつねの気持ちを自分自身に置き換えて考えさせることにより、誰の心にも弱さがあることに気付かせる。</li> <li>○ ペアで考えさせた後、全体で発表させる。</li> <li>○ うさぎがきつねに対して、</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 集中して範読を聞き、資料を目で追うことができたか。(観察)</li> <li>○ どんぐりを隠すきつねの気持ちについて、考えることができたか。 (観察・発表)</li> <li>○ 積極的に発表することができたか。(観察・発表)</li> </ul>

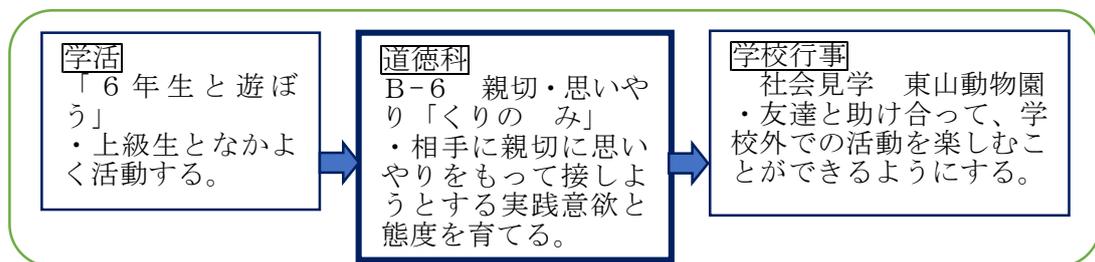
<p>る。</p> <p>△ しばらく考えているとき、うさぎは、どんな気持ちだったでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2つしかないからあげたくない。</li> <li>・ 本当はあげたくないけど、きつねもお腹がすいているから1つあげよう。</li> <li>・ 困っている人には、優しくしたい。</li> <li>・ きつねを助けたい。</li> </ul> <p>(5) 涙を流したきつねの気持ちを考える。</p> <p>△ どうしてきつねの目から涙が落ちたのでしょうか。きつねの気持ちを考え、ワークシートに書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ くりのみがもらえて、うれしい。ありがとう。</li> <li>・ 本当のことを言おうかな。</li> </ul> <p>(6) きつねとうさぎの気持ちを役割演技を通して実感する。</p> <p>▲ 栗の実をきつねにあげるうさぎと、受け取ったきつねの様子を演じてみましょう。演じている時は、どう思いましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ うさぎ…きつねさんも、お腹がすいているよね。だから、1つだけど、あげるよ。</li> <li>・ きつね…本当は、どんぐりをたくさん食べたんだ。うさぎさんは、お腹がすいているのに分けてくれた。ありがとう。</li> <li>・ きつね…ぼくもうさぎのようにすればよかった。うそをつかなきゃよかった。</li> <li>・ うさぎ…きつねがおれいをい</li> </ul>	<p>「それはお気の毒ですね。」と言ってしばらく考えた後、「うん。」と頷いて栗の実を取り出したことを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ はじめは自分のことを考えていたうさぎが迷った後に、きつねの立場になって考え、栗の実を分けてあげた思いやりの気持ちを考えさせる。</li> <li>○ 自分で考える時間を設けた後、ペアで考えを伝え合わせ、クラス全体で交流させる。</li> <li>○ 心情円盤を活用し、自分だったらという気持ちを表現させる。(あげる→ピンク、あげたくない→青)</li> <li>○ 机間指導で児童の考えを把握し、意図的指名につなげるようにする。</li> <li>○ 役になりきれるように、うさぎときつねのつり下げカードを用意する。</li> <li>○ 代表の児童に役割演技をさせる。</li> <li>○ うさぎがしばらく考えた後に「うん。」と頷く様子演技させることで、見ている児童に、うさぎの迷いを感じ取らせたい。</li> <li>○ きつねを演じた児童に、目から涙が落ちたときの気持ちを発表させることで、うさぎの優しさに気付いたきつねの気持ちを、自分なりに考えられるようにする。</li> <li>○ うさぎを演じた児童に、きつ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ うさぎの気持ちの変化について考えることができたか。(観察・発表)</li> <li>○ きつねの気持ちを考え、ワークシートに書くことができたか。(ワークシート)</li> </ul> <div data-bbox="1150 1872 1407 2078" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>親切について 考え、相手に親切に思いやりをもって接しよう</p> </div>
---	---	--

	<p>ってくれてうれしかった。</p> <p>△ ペアで、役割演技をしてみましょう。</p>	<p>ねの話を聞いたときの気持ちを発表させることで、相手のことを親身になって考えることよさに気付かせたい。</p> <p>○ うさぎ役、きつね役の両方を体験できるように、2回行う。</p>	
8 (45)	<p>3 振り返りをする。</p> <p>(1) 自分の生活を振り返り、相手に優しくできた経験を発表する。</p> <p>△ うさぎのように、誰かに優しくできたことはありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ おかずをこぼしてしまった人の机の上をきれいにしてあげた。</li> <li>・ 弟におもちゃをゆずってあげた。</li> </ul> <p>(2) 本時の振り返りをする。</p> <p>△ 今日の学習を振り返り、ワークシートに書きましょう。</p>	<p>○ 誰かに優しくしたり、親切にしたりしたときの気持ちを問い、発表させる。</p> <p>○ 6年生との交流会で6年生に優しくしてもらったことを思い出させ、今後、自分たちも周りの人に優しくしたいという気持ちをもたせる。</p> <p>○ 学習の内容や様々な意見を振り返ることで、自分なりの思いや考えをもてるようにする。</p>	<p>○ 自分の生活を振り返ることができたか。 (観察・発表)</p> <p>○ 本時の学習を踏まえ、これからの行動について考えをかくことができたか。 (ワークシート)</p>

## 7 資料

### (1) 小単元構成

○ 1年小単元テーマ 「まわりのひとと なかよくね」



(2) 板書計画

「しんせつ」について かんがえよう。

くりのみ

○「だめ、だめ。なんにもみつかりませんでした。」

挿絵 P.78

- ・ じぶんでみつけたどんぐりだからだれにもあげたくない。
- ・ うさぎに、あげたくない。
- ・ ひとりじめしたい。

じぶんの  
ことだけ

○みつけたくりのみの一つをあげたとき

挿絵 P.79

- ・ あげたくないけど…。
- ・ きつねもおなががすいているだろう。
- ・ たすけたい。
- ・ きつねがこまっている。

あいての  
ことを  
かんがえた

○めから、ぼたりぼたりと、なみだがおちたとき

挿絵 P.80

- ・ ごめんなさい。
- ・ うそをついた
- ・ ありがとう、わけてくれてうれしい。
- ・ うさぎは、やさしい。
- ・ うさぎのようになりたい。

(3) 座席表

教 卓
